

オオムラサキのケージを 一般公開します

市の財産である「みどり」を次世代に継承するため、市では萌芽更新を行い、雑木林の若返りを図っています。この活動を市民の皆さんに知っていただくため、雑木林の象徴とされるオオムラサキの飼育を開始して13年目になりました。今年も、昨年孵化した幼虫が順調に育っており、6月中旬にはオオムラサキがケージ内を舞いますので、一般公開を下記の日程で実施します。

日6月15日(土)～7月5日(金)午前10時～午後3時(月曜日・火曜日は休み) 無料【備考】事前申込不要。雨天及び強風の場合は中止します。また、状況により予告なく中止する場合があります。写真撮影は可能です。入口に設置している見学届を提出してください。ケージ内



オオムラサキ

での飲食はご遠慮ください。マスクの着用は任意です。台田の杜広場を駐車場として臨時開放します(午前9時50分～午後3時10分)。場内伊藤記念公園台田の杜 水と緑と公園課 緑政係 ☎042-497-3267

出店者募集

女性起業応援 キヨセ de フェスタ

清瀬市を商圏とした女性起業家たちのハンドメイド作品販売やワークショップなどが体験できるイベントです。

日11月23日(土)午前10時～午後4時 場内アミューホール

◆出店者募集

起業を目指す女性や、起業している女性の出店をお待ちしています。

対清瀬市または近隣に活動拠点を置き、事業活動をしている

団体または個人。定員35枠程度 費2,500円(出店料)

【出店応募方法】

6月30日午後5時までに右記申込みフォームから

【主催】キヨセ de プランニング

☎キヨセ de プランニング
✉kiyofes@gmail.com

※書類選考のうえ、出店者を決定



申込み
フォーム

消費生活相談の 現場から

ますます悪質に！ 突然訪ねてくる屋根工場の訪問販売業者に注意！

【事例】業者が「明日からの工事でお宅の前の道を車両が出入りするので挨拶に来ました」と突然訪ねて来た。ドアを開けると「工事のお知らせ」という書面を渡され、「お宅の屋根瓦が浮いていて風で飛ばされそうだ」と言われた。びっくりして業者に屋根に登ってもらったところ、「かなり老朽化が進んでいる。通行人に怪我をさせる前に修理をしたほうがいい」と急かされ、その場で120万円の屋根の修理工事契約を結んだ。ところが翌日、工事を行っている様子も車両の出入りも無く、工事の挨拶というのは訪問するための口実だったと分かった。騙されたと思い契約をキャンセルしたが、すでに材料を発注済みなので材料費は支払ってもらおうと言われた。

【アドバイス】突然訪問してきた業者から「お宅の屋根が壊れている」と事実と異なることを告げられ、直ちに修理が必要な状態ではないにもかかわらず、「すぐに工事をしないと危険だ」などと高額な契約を迫られるトラブルが後を絶ちません。最近では偽の「工事のお知らせ」ま



で用意して信じ込ませ、契約を持ち掛ける業者が現れるなど、騙しの手口が巧妙化しています。「風で飛んだら危ない」「通行人や隣家に被害が出る」などと言われてしまうと冷静さを失い、業者の言われるままに契約を急いでしまいがちですが、その場で点検に応じたりせず、一旦立ち止まり、慎重に判断することが重要です。また、クーリング・オフをするとその契約は初めからなかったことになるため、事例のように業者に材料費などを請求されても支払う必要はありません。消費生活センターでは悪質な訪問販売業者への抑止力となるよう、「訪問販売お断りステッカー」を配布しておりますので、ぜひご活用ください。☎消費生活センター ☎042-495-6212(相談専用) ※つながらない場合は ☎042-495-6211へ

児童育成手当現況届の提出は6月28日(金)まで

児童育成手当を受給している方の養育状況や令和5年中の所得状況などを確認し、受給資格の有無を審査するため、5月31日に現況届を送付します。

必要事項を記入し、下記のとおりに提出してください。

【提出期限】6月28日(金)

【必要書類】

▶児童育成手当現況届

▶令和6年度課税・非課税証明書(または所得証明書) [令和5年中の所得額、扶養人数、諸控除額等の記載のあるもの]

※令和6年1月1日に、清瀬市に住民登録がなかった場合に必要となりますが、マイナンバー制度による情報連携に同意いただければ省略可能です。

▶愛の手帳または身体障害者手帳の写し(該当する方のみ)

※その他、状況に応じて書類が必要となる場合には、個別にご案内します。

【提出方法】郵送または直接窓口へ

☎子育て支援課 子育て支援係 ☎042-497-2088

秋篠宮皇嗣妃殿下がご来清されました

4月30日、秋篠宮皇嗣妃殿下がご来清され、郷土博物館の歴史展示室内「結核」コーナーをご観覧されました。

その後、清瀬病院記念碑(中央公園内)や外気舎記念館(東京病院敷地内)など、結核療養にゆかりのある周辺地域を巡り、ご視察されました。

結核予防会総裁をお務めの秋篠宮皇嗣妃殿下は、これまでも

度々清瀬市にご来清されています。☎シティプロモーション課 プロモーション係 ☎042-497-1808



郷土博物館内展示をご見学される妃殿下

第53回東京都農業祭(植木部門)で松村一夫さんが「東京都農業協同組合中央会会長賞」を受賞しました

4月20日、21日に神代植物公園広場特設会場(調布市深大寺元町五丁目)で開催された「第53回東京都農業祭(植木部門)」で、松村一夫さん(中里在住)がマルバノキを出品し、「東京都農業協同組合中央会会長賞」を受賞しました。おめでとうございます。

☎産業振興課 農政係 ☎042-497-2052



受賞した松村一夫さん

市民と歩んだ 清瀬駅の100年



清瀬駅100周年
について
詳しくはこちら

第9回 北口再開発事業、現在の清瀬駅へ

昭和46(1971)年に橋上駅になった清瀬駅の南口周辺は、さらに発展し商店街は賑やかになっていきました。しかし、その一方で、清瀬駅開業当時から大きな変化のなかった北口周辺は、商業施設・住宅地・農地が混在していました。特に住宅地は道路沿いに密集しており、その裏手には空き地が広がっていました。

そのため、北口周辺の利便性を向上するために再開発事業が必要となりました。この事業は、過去に刊行された清瀬駅北口地区市街地再開発等調査報告書に基づいて行われ、昭和58(1983)年から始まり、平成7(1995)年まで掛かった大規模な再開発事業でした。完成後、北口周辺は整備され、歩行者と車を分離し、ペDESTリアンデ



平成21(2009)年清瀬駅全景

ッキの設置で駅直結となった大型複合施設クレア、ホールなどを兼ね備えた生涯学習施設であるアミューが誕生しました。その後、清瀬駅にはエレベーターやホーム内にエスカレーターを設置するなどバリアフリー化も行われ、新しい駅へと進化を遂げました。大正13年に松林を切り開いて誕生した清瀬駅は、清瀬市の市民生活に欠かせない駅としてこれからも歩んでいきます。

